

経営者は遊び心を持って 空飛ぶ怪鳥・松本謙一の人間学

村上 毅 著

定価本体 1,500円(税別) 四六判・並製・200ページ 発売 2017年11月9日 ISBN 978-4-526-07771-5

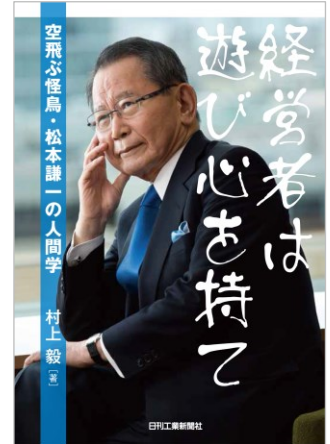
■400年以上続く会社の「経営哲学」

1603年に薬種商として産声をあげ、400年以上の時をかけて現在の姿、医療機器メーカー「サクラグローバルホールディング」へと成長しました。医療の感染制御に貢献する洗浄滅菌事業と、がんの確定診断の迅速化、効率化に寄与する病理診断事業を手掛けます。同社はグローバル化に力を入れ、活躍の場は年々広がりを見せています。

この過程には、その時々経営者の判断がありました。その中でも、世界に目を向け、自らグローバル化に取り組んだ現会長・松本謙一氏の判断が、サクラグローバルホールディングを大きく成長させました。経営者として持つべき経営哲学を、松本謙一氏の“人間学”から学びます。

■感性は好奇心から、磨かれる

松本謙一氏は月二度は海外に足を運び、現地で生きた情報を自ら収集します。この好奇心が感性を磨いてきました。「感性がある人間ならば何かを感じ、知ることができる。そこにビジネスを切り込めばいい」一。好奇心が自らを突き動かす原動力となり、新たな発想につながっていきます。ビジネスにおける感性の重要性とその磨き方を、松本謙一氏の言葉を紐解きながら探ります。



松本 謙一（まつもと・けんいち）

1936年、東京生まれ。慶應義塾大学経済学部卒業。同 工学部機械工学科研修生終了。1961年、サクラ精機株式会社に入社。取締役、社長を経て、1990年より会長。現在、サクラグローバルホールディング株式会社の会長・CEO、サクラファインテックジャパン株式会社の名誉会長ほか、グループ各社の取締役を務める。日本医療機器学会をはじめとする業界団体の役員を歴任し、現在、日本医療機器工業会の理事長、日本医療機器産業連合会の副会長などを務める。2013年には松本財団を設立。東京都知事表彰、厚生大臣表彰、藍綬褒章、旭日中綬章などを受賞。

【著者】村上 毅（むらかみ・つよし）

2002年、日刊工業新聞社に入社。横浜の支局担当を皮切りに、IT、食品・流通、工作機械、造船・重機、鉄鋼・非鉄を担当。2016年4月から医療機器などヘルスケア産業の取材を重ねる。

●目次

発刊にあたり

- 第一章 **見極める力** サステイナビリティの本質
 - 第二章 **判断する力** 日本市場を守った“競争”と“協業”
 - 第三章 **活かす力** “新”市場を見て、感じる
 - 第四章 **成長する力** 未来に咲く“真”のヘルスケア企業へ
 - 第五章 **共有する力** 業界の利益は皆のためになる
- 終章

●ご購入ならびにお問い合わせにつきましては、最寄りの書店またはAMAZONなどのインターネット書店までお願い申し上げます。